



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信 花 便 り

No.36 (2015年7月号)



<NPO 法人 日本園芸福祉普及協会より顕彰を受ける：園芸福祉シンポジウム in おおさか会場にて>

目 次

4月からの主な活動の報告！	2
園芸福祉シンポジウム in おおさか & 和歌山の現地研修に参加して	7
新会員の紹介コーナー	8
ハーブクラフトで楽しく交流！	8
博多高等学園での苔玉づくり	9
園芸福祉士認定の会員紹介	10
感謝状いただきましたあ～！！	10
ハーブガーデンのお披露目「畑deマルシェ」開催	11
祝ハウステンボスに花壇展示 / 園芸福祉の庭の6月定例作業	12
事務局からのお知らせ	13

4月からの主な活動の報告！

谷口 博隆

紫陽花が色とりどりに景を成し、心安らぐ梅雨のひととき、慌ただしく過ぎたこの3か月を振り返ります。



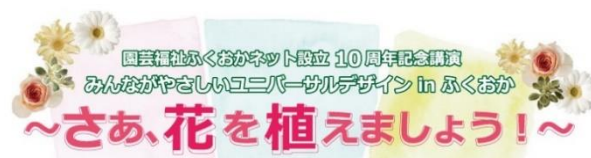
◇4月4日～12日福岡市の都市緑化推進春のイベント「福博花しるべ2015」が福岡市中央区警固公園で開催されました。園芸福祉ふくおかネットは毎回花壇コンテストに出展しています。

今回はデザインを金崎 順子さんが担当、可愛い苔のグリップ人形をアクセントに飾り、ビタミンカラーの花をあしらいました。山崎 博子さんを中心に会員が忙しい中を頑張ってお出展しました。



◇4月11日「みんながやさしいユニバーサルデザイン in ふくおか ～さあ、花を植えましょう！～」と題して、設立10周年記念講演を福岡市役所15階講堂で開催致しました。

これにご共催頂いた福岡市、(公財)福岡市緑のまちづくり協会。後援は西日本新聞社、RKB毎日放送、社会福祉法人福岡市社会福祉協議会、一般社団法人福岡市造園建設業協会は

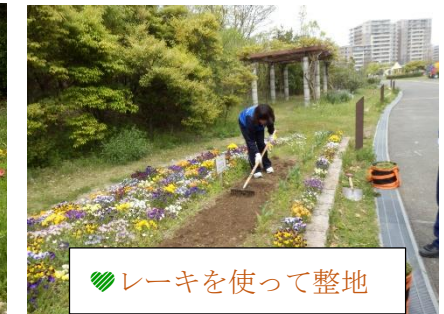


じめ福岡市緑化協会、福岡県樹木医会、西日本短期大学。広報はリビング福岡、J:COM、Cross f



m、福岡市市政だより、グリーンノート他と多くの方々のお力添えや応援、ご協力を頂き、当日会場は満席状態で開催することが出来ました。ご参加いただきました皆様からご好評を頂くことが出来ました。設立10周年の行事に関わって頂きました皆様、誠に有難うございました。会員を代表して御礼申し上げます。園芸福祉ふくおかネットは、皆様のご理解とご協力を賜りながら、みんながやさしい官民協働の園芸福祉の取り組みを更に推進しなければ、と意を新たにしております。

◇4月23日は、福岡フィナンシャルグループ新入社員研修をアイランドシティ中央公園で行いました。はじめの挨拶と作業手順を説明後、班分けして会員が指導し、園芸福祉の庭の花壇の除草



🍃丁寧に草を抜く

🍃レーキを使って整地

などの手入れを行いました。後半は公園の西側の園路沿いの照葉小学校低学年が管理している花壇のチューリップを抜いた後を除草、整地して花苗を植えることにしました。デザインを話し合い、仮配置、あっちこっち動かして上手く納まると植え付ける。水遣りの説明と実演をすると「やりたいです！」と積極的な女性、やさしく楽しそうに水をたっぷりやりました。



🍃植え付けを楽しむ

❤️ 完成しましたー！(∩o∩)／

作業を終了する前、誰ともなく掃除をはじめ、エリアの外側の園路まで掃き清め、花壇も周囲もきれいになったところで、記念写真に納まって、笑顔で手を振りながら迎えのバスへ。

元気で仕事がんばってー!! この素晴らしき佳き出会いに感謝です。

◇5月4～5日は、国営海の中道海浜公園で「癒しのこけ玉づくり体験教室」を実施しました。



順番待ちの行列ができる



苔玉材料をセットして準備OK



子どもさんから高齢者まで100名を超える多くの皆様にご参加いただきました。会員が丹精し育てたギボウシや山野草、苔が参加者の笑顔とスタッフの笑顔と共に、まーるい苔玉に仕上がりました。今秋にも実施することになっております。



4日の教室



5日の教室



4日のスタッフ



5日のスタッフ&うみなか小山内係長

◇ 5月13日から福岡市立特別支援学校「博多高等学園」での職業技能指導者派遣事業として、授業に関わることになりました。自己紹介、作業内容の確認、留意点を説明して現場に移動。校舎前の歩車道に挟まれた街路花壇がステージ。まず除草、一本も残らないようにきれいに除去できました。そこに改良材や肥料を施用して、攪拌し土づくりを終えました。



5月27日、事前に提供していたポーチュラカの挿し穂を生徒さんが挿し芽して育てていた苗の植え付け作業を行いました。植え付けにあたって事前にみんなでデザインを考え、それを現場に反映することにしました。整地、植え付けのポイントを実演しながら説明。生徒さんたちは間隔の印をつけたテープを定規にして、ていねいに植え付けました。水やりの注意点も実演して説明し、生徒さんが交代しながら体験しました。以後

雨降りが多かったが、除草もされて街路景観の向上、地域の癒しの空間を演出しています。



最近の花壇の景です。



6月17日は、生徒さんを2班に分けて、エコ鉢づくりの授業と苔玉づくりの授業を行いました。エコ鉢づくりは井上 妙子さんが担当。新聞紙、セメント、ペットボトルなどを使って、20 cmほどの器を作り、袋に入れて名前を書いて保管、乾燥中です。私たちも出来上がりがとても楽しみです



出来た作品を袋に入れて名前を書き乾燥室へ

一方、苔玉づくりの授業は黒瀬 恵子さんが担当、あらかじめ準備した材料セットを選んでポットから植物を抜き、根鉢もケト土もそして苔もまーるく両手をうまく使って整えて、苔の上に糸を巻いて～いろいろあったけどがんばって仕上げ、エコ皿に飾って完成！生徒さんたちは作品を胸元に掲げ、とってもいい顔して写真に納まっていました。



◇6月12日は、福岡県営春日公園（指定管理者：西部ガス株式会社・株式会社ファイブ共同事業体）での腰高花壇（レイズドベッド）6基の植え付け指導を実施しました。これは依頼を受けて年二回行っています。今回3施設から利用者さんが参加され、皆さん施設ごとに4～5名が花壇を取り囲み、指導に当たる会員と挨拶を交わし、花の話で雰囲気や和みます。



挨拶から始めます



説明を聞き、香りや手触りを楽しみます



杖や車いすを手放して植え付けに熱中

今回はミント類やラムズイヤー、キャットテール、オジギソウなど五感で楽しめる花苗が準備しており、参加された方々に植物の特性を説明しながら香りを確かめ、指で触れて感触や葉の動きを楽しんだ後、配置を話し合い、植え付けられました。はじめは遠慮気味の方も少しすると主役でどんどん植えられる。昔取った杵柄？でしょう。陽ざしが強かったので体調が心配。出来たところから記念写真に納まって、緑陰のベンチで休憩しました。

この花壇植えつけ指導も数年継続していますが、いつも参加されている方々の笑顔がスタッフの励みになり、元気を頂いています。



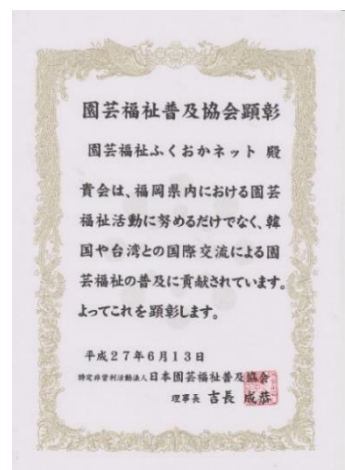
完成した花壇



本日の指導スタッフ

終わってから「私利用者さんと間違っ、冷たいお茶をどうぞ！って声かけられたとー」一同爆笑の後「花壇指導をあと何年出来るだろうか」「次は利用者として来てるかもね」と顔を見合せて笑ってしまいました。

◇6月13日大阪で第14回 園芸福祉シンポジウム～園芸福祉 未来への提言～が開催されました。福岡から代表谷口 博隆、副代表黒瀬 恵子さん、副代表辻 和広さん、米倉 治美さん、山崎 博子さん、角銅 久美子さん、木村 洋子さん、新会員小山内 朝香さん(海の中道海浜公園 職員)、大田 香代子さんが参加しました。総会後に顕彰があり全国から4つの団体と個人2名が受賞しました。私たちの『県内における園芸福祉活動に努めるだけでなく、韓国や台湾との国際交流による園芸福祉の普及に貢献』が認められました。また、会員の角銅 久美子さんが個人部門で顕彰されました。

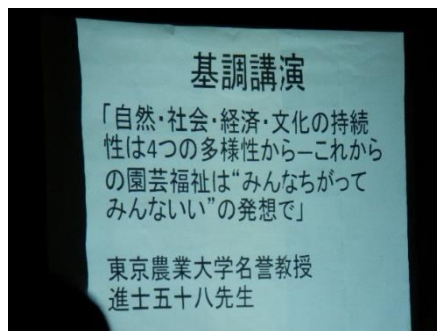


園芸福祉シンポジウム in おおさか&和歌山の現地研修に参加して

副代表 辻 和広

私は「園芸福祉シンポジウム in おおさか」に参加してきました。初夏の蒸し暑い中ではありましたが、エアコンが効いた体育館で良かったです。

今回、私が1番楽しみにしていたのは、基調講演 進士 五十八先生の講演でした。講演の内容



でも「平等だからこそその『みんながって、みんないい』」や「里山資本主義」「生物・生活・経済・景観、4つの多様性」の話など幅広い分野からの解説、わかりやすい説明で、とても興味深く、さすが

「進士先生」と思わせる内容で感激、感動しました。

2日目の現地研修では、和歌山県での園芸福祉活動を見学しました。最後に見学した社会福祉法人「コスモス作業所」と「有田川コスモスフーズ」に感銘を受けました。

私も知的に障がいのある生徒に関わる者として、この施設は感動しました。世界最先端の凍結システム CAS (キャス) を使った商品開発や商品づくり。施設利用者の社会自立に向けた作業内容、役割分担。山崎貞子施設長の「夢や熱意」に心を揺さぶられました。



この施設の理念は「ひとりひとりが かがやいて 生きていきたい このまちで」です。障がい者だけでなく、高齢者、健常者、みんなが楽しく安心して共生できる「社会づくり、地域づくり、まちづくり」は園芸福祉活動の理念と一致するものだと思います。今回の研修では、感激、感動、感銘とハートにグッとくるものがとても多い

研修となりました。私もこの精神を忘れず、今後とも感動できる園芸福祉活動に取り組んでいきたいと思います。



新会員の紹介コーナー

◆濱崎 真人さん

初級園芸福祉士の認定試験合格と同時に園芸福祉ふくおかネットへ入会しました濱崎です。緑に関心を持ったきっかけは、我が家にあった梅の老木[座論梅(ざろんうめ)：一つの花に実が5～6個結実する珍しい梅?]が枯れる前に、その梅の木を実生から育てた時の感動です。

現在、家庭菜園にチャレンジしている他、庭の草花をカメラに収め、『草花のいろは』の勉強を始めたところです。

会員の皆様、ご指導よろしくお願い致します。



◆小山内 朝香さん

園芸福祉ふくおかネットにお仲間入りさせていただいた小山内朝香です。小さい頃から植物が大好きで、学生の頃は林学と生態学を学びました。人と生きものが関わり合う、公園で働く道を選び、神奈川から埼玉、札幌を経て福岡にやって来ました。現在、海の中道海浜公園で企画の担当をする傍ら、樹木医として地道に頑張っています。園芸福祉との出会いは公園でのこけ玉作り教室でした。園芸福祉を通じて出会う、全ての出会いを大切に、これから活動に参加していきたいです。どうぞ宜しくお願いいたします。

<今回ご紹介できなかった新会員の方は次号でご紹介いたします。>



ハーブクラフトで楽しく交流！

米倉 治美

去る3月宇美町ボランティア・町民活動支援センター ふみらぼで開かれた交流会「～ボランティアで宇美町をイキイキさせよう～」に参加させていただきました。この日は育苗活動団体や更生支援団体、聴覚障がい者とその支援グループなど様々なボランティア活動をされている皆さんと『卵のポマンダー(香り玉)』を作りました。※中世のヨーロッパでは香りが魔除けになると信じられていました。

卵の殻を小さな三角形にカットした布で貼り、ドライハーブ(ラベンダー)を入れて香りのポマンダーを作りました。皆さん手先を使う細かい作業に戸惑いながらも、女子学生のように楽しそうに会話も弾み、ポマンダーが完成すると「可愛いのができたあ!」「もう一個作りたいので布切れもらっ

ていいですか)、とうれい反。以前ここで仲良しになった聴覚障がい者のご婦人に「上手にできましたね」と声をかけると、「下手ですよ」。「手話で上手ってどう表わすのですか?」。片方の手をもう一方の腕に滑らすようにすると教えてくれました。習いたての手話で「上手、上手」と私。こんな会話をしながら和やかでやさしい時間が流れていきました。



博多高等学園での苔玉づくり

黒瀬 恵子

4月10日に開催した園芸福祉ふくおかネット設立10周年記念講演に、福岡市立特別支援学校「博多高等学園」の先生が聴講にいられていました。講演資料として園芸福祉ふくおかネットの沿革も配布させていただいていましたが、講演終了後、資料に記載されていた福岡県立特別支援学校「北九州高等学園」の外部講師についてお問い合わせをいただきました。

4月28日に谷口代表と学園を訪問させていただき、北九州高等学園での活動が評価されて博多高等学園で「特別支援学校職業技能指導者派遣事業」として、関わらせていただくことになりました。

5月13日花壇の土づくり、5月27日の植え付け、そして今回の苔玉づくりで生徒さんとの関わりは3回目になります。授業の初め、「今日来られている方はどなたですか?」と先生の問いかけに、生徒さんは各自の小さなメモ帳をあちこちめくりながら記録を見つけ、「園芸福祉ふくおかネットの黒瀬様」と丁寧に名前を呼んでくれました。

苔玉づくりは、他の教室で行なわれたエコ鉢づくりと同時進行で進められ、苔玉づくりが終われば次はエコ鉢づくりと言うように、生徒さんは午前中3時間の間に教室を移動しながら作品をつくっていきました。初めてつくった苔玉が上手に出来て満足そうにしている生徒さんを眺めながら、思わず私も心が和みました。苔玉づくりを指導させて頂けたことに感謝し、苔玉が製品として販売につながり、それが生徒さんたちの喜びにつながっていけば良いなと思いました。



園芸福祉士認定の会員紹介

今回、園芸福祉士として登録されている園芸福祉ふくおかネットの会員をご紹介します。
園芸福祉士の認定者は、全国で308名、福岡県は10名、その内8名が園芸福祉ふくおかネットの会員です。

初級園芸福祉士は、全国で約1,900名、福岡県は74名となっております。

注、資格更新の関係で流動的なため現時点での人数です。

	氏名	フリガナ	認定年度	住所地
1	青崎 安孝	アオサキ ヤスタカ	2009	古賀市
2	谷口 博隆	タニグチ ヒロタカ	2009	古賀市
3	山崎 博子	ヤマサキ ヒロコ	2010	福岡市
4	黒瀬 恵子	クロセ ケイコ	2010	福岡市
5	辻 和広	ツジ カズヒロ	2010	宗像市
6	栗木 トシ子	クリキ トシコ	2011	久留米市
7	龍 節子	リュウ セツコ	2013	柳川市
8	沖本 圓	オキモト マドカ	2014	福岡市

初級園芸福祉士の皆さんが園芸福祉士として認定を受けられて、ご活躍されることを願っております。



感謝状いただきましたあ〜!!

栗木 トシ子

今年の早春園芸福祉ふくおかネット有志で、福岡県緑化センター(久留米市田主丸町)にモデル庭園・タイトル名「もお〜い〜かい!」を作りました。その庭園が「専門技術を活かし、身近な緑の優しさや大切さを実感できるような庭園である」と福岡県緑化センターより感謝状を頂きました。

3月末に植え込み、5月頃には一株一株が大きく育ち、みごとに花たちが咲き誇り来園される皆様に喜ばれています。草取り、花がらつみなど手入れをしていると「みごとに咲いていますネ」「どうしたらこんなにきれいに茂りますか」「いつ頃植込みますか」等々。いろいろと尋ねられます。「やはり土づくりからではないでしょうか、一つ一つの花たちに愛情と声をかけています」と答えています。これから夏に向け花の植え替えをします。皆様でお手伝いできる方がおられましたら、ご連絡いただけると幸いです。福岡県緑化センター・モデル庭園づくり活動をしながら、

みんなで楽しく園芸福祉活動を続けましょう。



●お問い合わせ先 携帯 090-1194-6726 栗木

園芸福祉ふくおかネットの庭園

『もお～、い～かい !!』

ところ：田主丸福岡県緑化センター内モデル庭園

常設：9時～17時 休館/月曜日

お近くにお寄りの際は、是非ご覧ください。

ハーブガーデンのお披露目 「畑 de マルシェ」 開催

2014年6月から宇美町の休耕田を活用して、花、緑など植物とふれあいながら「みんなで元気になって、みんなで笑顔になりましょう」を合言葉に、ハーブ中心の植栽で『ユニバーサルデザイン』を視野に入れた、コミュニティー・オープンガーデンを作っています。

まだまだハーブガーデンは未完成ですが、福岡市内外の皆様に広く知っていただききたいと『畑 de マルシェ』を開催します。

◆とき/ 7月26日(日曜日)10:00～15:00

◆ところ/ 糟屋郡宇美町障子岳南(西鉄バス障子岳バス停近く)

◆うみの丘・風かおるハーブガーデン

- ・ハーブの収穫・販売、ハーブクラフトの販売、多肉寄せ植え etc
- ・ワークショップ/ハーブコケ玉づくり(ハーブディー付)

◆今秋には西日本短期大学の学生による庭も公開予定!!

◆ふれあい農園

- ・夏やさいの収穫・販売
- ・ワークショップ/世界で一つだけの椅子づくり、案山子づくり

◆移動SHOPがやってくる!!

主催 特定非営利活動法人 緑のキャラバン隊

共催 特定非営利活動法人 グラウンドワーク福岡

◆お問い合わせ先 特定非営利活動法人 緑のキャラバン隊

携帯 090-4317-5662 米倉



祝 ハウステンボスに花壇展示

今回の特別展示は、「バラ祭」、「ガーデニングワールドカップ」において部門を問わず3回以上の受賞歴(最優秀作品賞)のある2名による展示です。



園芸福祉の庭の6月定例作業

6月最後の日曜日定例作業を実施しました。参加者は12名。花枯れした植物や除草などの手入れをして、「超巨大輪マツバボタン (スベリヒユ科・多年草)」を植え付けました。これから大きく成長して公園を美しく飾ることでしょう。作業後、NPO 法人 日本園芸福祉普及協会から活動実績を評価され顕彰されましたので皆さんに披露しました。





事務局からのお知らせ



◆ ボランティア保険のお知らせ

- ◎ 定例作業や花育、グリップキャンペーンなどの活動に参加される方はボランティア保険に加入します。
- ◎ 必要な方は7月25日（土）までにメール又はFAX、電話で事務局までお申し込み下さい。
 - ※ 既にお申込みをされている方はご連絡不要です。
 - ※ 締め切り以降の受付は行いませんのでご了承下さい。

◆ 園芸福祉の庭 定例作業のお知らせ

- ◎ 毎月、最終日曜日の10時から実施しております。

場所は、アイランドシティ中央公園（福岡市東区香椎照葉4丁目）園芸福祉の庭です。
 花壇の維持管理、花の植栽や除草、灌水などの手入れ作業を2時間程度実施しています。
 作業の後は、お茶を飲みながら和やかな時を共有し、花の育て方や土づくり、道具の手入れのことなど、日ごろの疑問に実践者が応えてくれるプチ勉強会の場にもなります。
 あなたも一歩踏み出して！ 「園芸福祉の庭」の定例作業に参加してみませんか。
 会話も弾み、笑顔がいっぱいで、とっても楽しいですよー♪

◆ 定例会のご案内

- ◎ 園芸福祉ふくおかネットでは、毎月第3土曜日15時から2時間程度

福岡市ボランティアセンターあすみんで定例会を開催しております。
 会員相互の情報や意見の交換、活動報告、作品の紹介、質問など役立つことがいっぱいです。
 定例会が終わってからの交流会は、本音が飛び交い、楽しいひと時です。

◆ あなたも活動紹介をしませんか？

- ◎ 個人やグループ、学校、施設、地域などで行っている園芸福祉の活動をお知らせ下さい。
- ◎ メールやお手紙に写真を添えて、事務局までお送りください。

● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

- ・ 〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25
- ・ TEL : 090-8626-1586 (黒瀬)
- ・ FAX : 092-521-6247
- ・ E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp